

交通安全教育の推進

委託事業 一般財団法人 兵庫県交通安全協会

実施目的

啓発対象の心身の発達段階やライフステージ、地域性に応じて、学校や地域において、基本的な交通ルールへの遵守、交通マナーを実践する事を習得させ、市民の交通安全意識の向上を図る。

実施場所 市内各所（※1）

対象者 市民一般等（※2）

開始年度 昭和45年

予算 73709 千円 （一部）

実施内容

（内容）

- ①学校園等において、所轄警察署の協力を得て、交通安全教室を実施。
特に小学校では、児童が参加・体験・実践できる独自の交通安全教室を展開。
- ②地域の集会施設において、所轄警察署の協力を得て、成人・高齢者向けの交通安全教室を実施。
また、区役所や商店街などにおいて、子育て世代や働く世代などへの自転車の安全運転指導を実施し、自転車マナーの向上を図る。
- ③通学（園）路、交通事故が多発する場所など、地域のニーズに応じた場所で、歩行者の保護誘導活動を行う。
- ④四季の交通安全運動時を中心に交通安全に関する街頭広報啓発等を実施する。

（方法）

一般財団法人 兵庫県交通安全協会への委託により実施。

（実施場所 ※1）

- ①神戸市内の幼稚園・保育所、小学校、中学校等
- ②商店街、地域福祉センターなどの集会施設、広場、公園など
- ③通学路の横断歩道など
- ④市内各所で実施。

（対象者 ※2）

- ①幼児、小学生、中学生等
- ②成人、高齢者
- ③市民一般
- ④市民一般が対象。

URL

<https://www.city.kobe.lg.jp/a70034/bosai/safety/undo.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

安全標示の設置（電柱幕の設置）

直轄事業

実施目的

主に通学路における交通安全の確保のため電柱幕設置による注意喚起を行うもの。

実施場所 市内各所

対象者 市民一般

開始年度 昭和51年

予算 2140 千円

実施内容

（内容）

電力会社や通信会社が所有の電柱に「とび出し注意」「学童に注意」と表記した安全標示を設置する。

（方法）

市職員により設置撤去を実施する。市民や学校長等からの要望により新設、撤去、修繕する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通遺児の福祉（奨学金の支給）

直轄事業

実施目的

交通遺児の健全な育成を図るため、奨学金を支給するもの。

実施場所 市内

対象者 交通遺児等^(※1)

開始年度 昭和45年

予算 1752 千円

実施内容

(内容)

神戸市交通遺児奨学金支給要綱に基づく奨学金支給。

(方法)

年1回（7月）に奨学金（幼児44,400円／年、小学生50,400円／年、中学生58,800円／年）を支給

(※1) 父、母またはこれに準ずる者が交通事故により死亡又は精神、身体に著しい障害を有することとなった神戸市在住の幼児（就学1年前）、小学生、中学生が対象。

URL

<https://www.city.kobe.lg.jp/a70034/bosai/safety/iji.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

神戸市交通安全対策推進協議会

直轄事業

実施目的

交通禍から市民を守り、激増する交通問題に対応するため、幅広い市民の参画を得て関係機関・団体が一体となって連絡調整を図り総合的・効果的な交通安全活動が推進できるよう、神戸市交通安全対策推進協議会を設置する。

実施場所

市内全域

対象者

市民一般

開始年度

平成9年

予算

実施内容

交通事故から尊い人命を守るために、あらゆる機会を通じて市民一人ひとりに広く交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図る。また、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけるとともに、安全な道路交通環境を整備し、交通事故のない「安全で安心なまちづくり」を実現するため、市民・事業者と関係機関や行政が手を携え協働の理念で、交通安全市民運動を展開する。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

神戸市通学路交通安全推進会議

直轄事業

実施目的

通学路の安全確保に向けた取組を行うため、関係機関の連携体制を構築し、「神戸市通学路交通安全プログラム」を策定している。

プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていく。

実施場所 市内全域

対象者 市内関係団体等（※1）

開始年度 平成24年

予算

実施内容

継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を図る。

また、これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。

（※1）各小学校及び義務教育学校前期課程、学校運営協議会、保護者・近隣学校園及び地域関係団体等が対象。

URL

<https://www.city.kobe.lg.jp/a61516/kosodate/education/measures/bohan.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他